

## モンゴル近況 2018年2月

政治

- 1) ロンドン仲裁裁判所はエルデネット鉱山の政府権益 51%を担保にスタンダード銀行から融資を受けたジャスト社の借款の返済を政府に命じた。
- 2) 閣議は 2018-2020 の国家投資プログラムおよび指標を承認した。

経済

- 1) Khurelsukh 首相は 1 月中旬韓国を訪問し 7 億ドルのソフト融資一般協定に調印した。
- 2) モンゴルの 2017 年貿易額は 105 億ドルとなり前年同期より 22 億ドル増加した。  
輸出は 60 億ドル、輸入は 43 億ドルであり 17 億ドル黒字となった。
- 3) 国税庁はオユトルゴイ鉱山に 1 億 5 千万ドルの追徴税を課した。
- 4) モンゴル西のオボットトルゴイ石炭鉱山の権益を持つ South Gobi Resources 社は脱税による裁判判決で命じられた 353 億トグルクの罰金を税務庁に納付した。
- 5) 政府はインドのソフトローンで建設する製油所を 4 月より開始する。建設地はドルノゴビ県（東ゴビ）のアルタンレート村が選定された。
- 6) Moody's 国際信用格付け会社がモンゴル国の信用格付を一段引き上げ B3 とした。見通しの安定を評価。
- 7) 政府はアジア開発銀行の 4 億 6 千万ドル融資のうち、1 億 3 千万ドルを国家予算に充当することを決めた。
- 8) 国会は国民の不満が大きい個人所得税法や特品税法を見直し、個人所得税は 12%→10%に戻し特品税をガソリンの特品税を 0 とした。

社会

- 1) 米国はモンゴルから派遣労働者の受け入れを決めた。
- 2) EU はモンゴルが税関関連法規を更新することを評価に国際的に税の面で協力しない国のブラックリストからモンゴルを外した。
- 3) 政府は韓国からの 7 億ドルソフトローンを大気汚染対策に使うことを決めた。
- 4) エルデネット鉱山の権益 49%をロシアから購入した民間会社と政府の間でこの権益の所有権を巡る紛争が続いている。
- 5) 1 月下旬よりガソリンが不足しガソリンスタンドで行列が発生している。ガソリンが値上げするらしいとの情報から需要者がスタンドに殺到したが、市外から市内へのガソリン輸送が遅れたことが原因。消費者庁は輸送を送らせた石油輸入業者に 500 万トグルクの罰金を課した。
- 6) 警察は日本から金 50kg を密輸したモンゴル人を逮捕した。また金は盗難物の疑いあり。
- 7) 今年は雪が多く現在全国の 80%が雪で覆われており、50%に於いて雪害が発生するリスクがあり  
食料農牧軽工業省は国家備蓄から干草、飼料などを牧民に届ける対策を進めている。
- 8) 石炭輸送料問題で中国石炭輸送会社の労働者デモで閉鎖されていた中国側ガンツモド通関所が 10 日ぶりに石炭輸送が再開した。石炭受け入れのチャルコ社が輸送料を上げることでデモは中止された。

教育文化

- 1) 2020 年までウランバータルで 2 ヶ所の現代の診断・治療センターを建設する。一つ目はフレー産科病院の隣で、次は医学大学の敷地内で建設する。2018 年にソングノハイルハン区で世界基準の総合病院、2019 年にチンギルティ区やハンオール区で総合病院を建設する。更に、トルコのスタンボルの市長の支援で 20 ヶ所の家庭病院を建設する。
- 2) 2018 年にウランバータル市予算や国家予算で合計 52 ヶ所の幼稚園や 34 ヶ所の学校を新設・増設する。